

大規模な石灰岩台地

阿哲台(満奇洞、秘坂鐘乳穴、宇山洞、縞嶽、諏訪の穴、井倉洞)



井倉洞



満奇洞



秘坂鐘乳穴



宇山洞





縞嶽

指定区分	県指定天然記念物
読みかた	あてつだい まきどう ひめさかかなちあな うやまどう しまだけ いくらどう
所在地	新見市豊永赤馬・豊永宇山・金谷・草間、 真庭市下皆部
指定年月日	昭和32年11月5日
解説	吉備高原中央部に位置する石灰岩台地。 標高350～500メートル、東西約18キロメー トル、南北約7キロメートルである。台地上 にはドリネ、カレンフェルトなどのカルス ト地形が発達し、満奇洞、井倉洞、秘坂鐘 乳穴などの鍾乳洞がある。また、高梁川上 流県立自然公園に含まれている。
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	満奇洞、秘坂鐘乳穴、宇山洞、縞嶽、諏訪 の穴、井倉洞ごとにページを設けていま すので、そちらもご覧ください。

与謝野鉄幹・晶子が名付けた“奇に満ちた洞”



満奇洞（阿哲台の一部）



指定区分	県指定天然記念物
読みかた	まきどう
所在地	新見市豊永赤馬
指定年月日	昭和32年11月5日
解説	総延長約450mの石灰岩の一大鍾乳洞。洞内のいたるところに多数の鍾乳石、石筍が並び立ち、竜宮、亀石、臥牛等の諸名所があって奇勝に満ちている。「槇の穴」とよばれていたが、昭和5年、この地を訪れた歌人、与謝野鉄幹・晶子夫妻が「満奇洞」と命名した。
アクセス方法	JR井倉駅より備北バス「満奇洞」行き終点下車すぐ
公開状況	入洞：9:00～16:30 / 無休 / 有料 / 問：0867-74-3100
設備	駐車場  トイレ 
備考	



地下の巨大湖をもつ裂か型吸い込み穴
秘坂鐘乳穴（阿哲台の一部）



指定区分	県指定天然記念物
読みかた	ひめさかかなちな
所在地	新見市豊永赤馬
指定年月日	昭和32年11月5日
解説	県下屈指の巨大な洞口と約1.7kmの長さを誇る裂か型吸い込み穴である。
アクセス方法	北房ICから約7.5kmで日め坂鐘乳穴神社からさらに約0.5km
公開状況	入洞不可、外観のみ
設備	「日め坂鐘乳穴神社」駐車場利用可。 駐車場  トイレ 
備考	

高低差105mの裂か型吸い込み穴
宇山洞（阿哲台の一部）





指定区分	県指定天然記念物
読みかた	うやまどう
所在地	新見市豊永宇山
指定年月日	昭和32年11月5日
解説	総延長1kmをこえる県内有数の規模の裂か型吸い込み穴。洞内からナウマン象の歯の化石が発見された。
アクセス方法	JR井倉駅から約13.6km
公開状況	入洞不可、外観のみ
設備	駐車場  トイレ 
備考	

美しいシマ模様の石灰岩壁
縞嶽（阿哲台の一部）





指定区分	県指定天然記念物
読みかた	しまだけ
所在地	新見市金谷
指定年月日	昭和32年11月5日
解説	石灰岩が花崗岩に押し上げられて形成されたもので、美しい縞模様を見せている。
アクセス方法	JR石蟹駅から約2.5km
公開状況	自由
設備	
備考	

諏訪の穴（阿哲台の一部）

指定区分	県指定天然記念物
読みかた	すわのあな
所在地	真庭市下皆部
指定年月日	昭和32年11月5日
解説	洞口は、雨が降ったときには水の吹出穴となる。いろいろな形をした鍾乳石が垂れ下がった下を、多量の水が流れ、多くの滝をなしている特異な鍾乳洞。全長900m。ここから流れ落ちる水の音や水車の回る音は、環境庁「日本の音風景百選」に選ばれている。
アクセス方法	中国自動車道北房ICから車5分/ JR備中高梁駅から備北バス「皆部・美作落合」行「皆部」下車
公開状況	自由(ただし入り口付近まで)
設備	「諏訪の穴」には「ほたる公園」駐車場利用可  
備考	「ほたる公園」のすぐそばです。

井倉洞（阿哲台の一部）



指定区分	県指定天然記念物
読みかた	いくらどう
所在地	新見市草間
指定年月日	昭和32年11月5日
解説	高梁川の絶壁に開口する鍾乳洞。全長は1.2kmもあり、カーテン、石筍、石柱が発達し、さらにかなり落差のある岩壁を落下する滝など躍動的にして繊細な自然の神秘を満喫できる。
アクセス方法	JR井倉駅から徒歩約10分
公開状況	入洞:8:30～16:30 / 無休 / 有料 / 問:0867-75-2224
設備	<div style="display: flex; align-items: center; gap: 20px;"> 駐車場  トイレ  </div>
備考	下流へ約8km下るとカルスト地形の阿哲台地を高梁川がV字に刻み、美しくダイナミックな峡谷を形作っている井倉峡があります。

きつずページ



井倉洞



満奇洞



秘坂鐘乳穴



宇山洞



縞嶽

していくぶん (指定区分)	県指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	阿哲台(満奇洞、秘坂鐘乳穴、宇山洞、縞嶽、諏訪の穴、井倉洞)
よみかた	あてつだい まきどう ひめさかかなちあな うやまどう しまだけ いくらどう
しょざいち (所在地)	新見市豊永赤馬・豊永宇山・金谷・草間、 真庭市下皆部
していたひ (指定した日)	昭和32年11月5日
せつめい	吉備高原(きびこうげん)の中央部(ちゅう おうぶ)にある石灰岩台地(せっかいがん だいち)です。鍾乳洞(しょうにゅうどう)の 井倉洞(いくらどう)、満奇洞(まきどう)など を含(ふく)んでいます。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	満奇洞 (阿哲台の一部)
よみかた	まきどう
しょざいち (所在地)	新見市豊永赤馬
していしたひ (指定した日)	昭和32年11月5日
せつめい	長さおよそ450メートルの鍾乳洞(しょうにゆうどう)です。めずらしい形(かたち)をした鍾乳石(しょうにゆうせき)や石筍(せきじゆん)という石の柱(はしら)などが次々とあらわれています。ライトアップされてとても幻想的(げんそうてき)です。昭和(しょうわ)のはじめごろ、歌人(かじん)の与謝野鉄幹(よさのてっかん)・晶子(あきこ)夫妻(ふさい)が、ここを満奇洞(まきどう)と名づけました。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	秘坂鐘乳穴 (阿哲台の一部)
よみかた	ひめさかかなちあな
しょざいち (所在地)	新見市豊永赤馬
していつひ (指定した日)	昭和32年11月5日
せつめい	長さが1.7キロメートルもある大きな鍾乳洞(しょうにゅうどう)です。危険(きけん)なので中に入ることはできませんが、外から穴(あな)をながめることができます。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	宇山洞 (阿哲台の一部)
よみかた	うやまどう
しょざいち (所在地)	新見市豊永宇山
していたひ (指定した日)	昭和32年11月5日
せつめい	1キロメートルをこえる長さで、洞穴(どうけつ)からはナウマン象の化石も見つかっています。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	縞嶽 (阿哲台の一部)
よみかた	しまだけ
しょざいち (所在地)	新見市金谷
していたひ (指定した日)	昭和32年11月5日
せつめい	石灰岩(せっかいがん)が花崗岩(かこうがん)に押(お)し上(あ)げられて形成(けいせい)された崖(がけ)で、美(うつ)しい縞(しま)模様(もよう)がついています。

きつずページ

していくぶん (指定区分)	県指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	諏訪の穴 (阿哲台の一部)
よみかた	すわのあな
しょざいち (所在地)	真庭市下砦部
していつひ (指定した日)	昭和32年11月5日
せつめい	<p>この鍾乳洞(しょうにゅうどう)は、いろんな形(かたち)の鍾乳石(しょうにゅうせき)の下をたくさんの水が流(なが)れて、多くの滝(たき)があるのが特徴(とくちょう)です。奥(おく)には入れず、入口あたりまでしか行くことができません。ここから流れ落(お)ちる水の音がとてもきれいな音だと言(い)われています。そばには「ほたる公園」があります。</p>

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定天然記念物
ぶんかざいめい (文化財名)	井倉洞 (阿哲台の一部)
よみかた	いくらどう
しょざいち (所在地)	新見市草間
していたひ (指定した日)	昭和32年11月5日
せつめい	長さ1200メートルもある鍾乳洞(しょうにゆうどう)です。高い場所にある岩穴(いわあな)から落(お)ちる滝(たき)や、岩のカーテン、岩肌(いわはだ)からしみでる水(みず)など、自然(しぜん)の神秘(しんぴ)にあふれています。